

平成17年度 事務事業評価表																				
〔様式1〕																				
記入年月日	平成17年5月16日		記入者	内線	742-6462															
部 名	環境事業部	課 名	東清掃事業所	課長名	小林 記久															
事務事業名	施設運営費（東清掃事業所）																			
予算上の事務事業名	施設運営費（施設運営費）																			
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21220																	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして																			
政 策 名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります																			
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度															
施 策 名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				昭和63年以前 ▼															
2 実施根拠及び関連法令・条例等																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律</li> <li>・相模原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例</li> </ul>																				
3 個別計画の概要			概要																	
計画名																				
計画年次	年度～	年度																		
4 事業形態の区分 サービス提供 ▼																				
5 事業概要																				
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の公共下水道未利用施設及び仮設トイレ等から収集されたし尿及び浄化槽汚泥の適正処理と効率的施設運営を推進する。</li> </ul>			公共下水道未整備地区及び整備地区の公共下水道未利用の一般家庭・事業所等及びイベント等に参加する市民																	
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。																				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・し尿及び浄化槽汚泥の処理</li> <li>・汚水、汚泥等の清掃工場運搬</li> <li>・決算額 56,776 千円（内下水道使用料 11,831千円）</li> </ul> 16年度処理実績 <table border="0"> <tr> <td>・生し尿</td> <td>3,324K1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・浄化槽汚泥</td> <td>10,521K1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,845K1</td> <td>の処理</td> <td></td> <td>（対前年度比 88.8%）</td> </tr> </table>						・生し尿	3,324K1				・浄化槽汚泥	10,521K1				合計	13,845K1	の処理		（対前年度比 88.8%）
・生し尿	3,324K1																			
・浄化槽汚泥	10,521K1																			
合計	13,845K1	の処理		（対前年度比 88.8%）																
6 関連・類似事業や他市の状況																				
多くの自治体では同じように実施しているが、一部事務組合を作って実施している自治体もある。																				
7 事業費の推移 [単位：千円]																				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)															
事業費	69,456	66,103	56,776	67,620	60,000															
一般財源	69,456	66,103	56,776	67,620	60,000															
受益者負担金	0	0	0	0	0															
その他の特定財源	0	0	0	0	0															
人件費の合計	184,580	152,190	145,260	129,120	121,050															
事業コスト合計(a)	254,036	218,293	202,036	196,740	181,050															
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）																				
主たる事業名				対象名称(単位)																
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)															
事業コスト(主たる事業)	0	0	0	0	0															
対象数	0	0	0	0	0															
単位あたり経費(円)																				
前年度比																				

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	下水道使用量		指標式と指標の説明	下水道使用量実績と予想使用量の比較 削減の効果を見る	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	75,361.0	70,414.0	53,128.0		
目標	91,800.0	81,600.0	76,800.0	61,200.0	55,100.0
目標達成度	0.82	0.86	0.69		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	削減達成度		指標式と指標の説明	放流水の削減実績実績率 / 処理量の削減率*100 放流水の削減率を処理量の削減率と比較する。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	14.5	8.8	11.5		
目標	12.8	9.1	11.3	15.5	10.0
目標達成度	113.3	96.7	101.8		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	] : 良好な状態を維持する事業			
	[	] : 概ね良好な状況である事業			
	[	] : 見直しを行う必要がある事業			
	[	] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		公共下水道の整備が概ね終了しており、今後急激な処理量の減少は考えられないため、現施設による処理を継続しながら処理量の推移を把握し効率的な施設運営に取組む。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 放流水の希釈倍率の見直しなどに取組み、一層の経費削減を図る。			14 課題として認識されたこと 公共下水道整備完了地区の公共下水道未利用者に対する対策。(下水道管理者)		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			